



## 2026年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年7月9日

上場会社名 株式会社プログリット 上場取引所 東  
 コード番号 9560 URL http://www.progrit.co.jp  
 代表者(役職名) 代表取締役 (氏名) 岡田 祥吾  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 CFO (氏名) 谷内 亮太 E-mail ir@progrit.co.jp  
 配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・個人投資家向けライブ配信及び当社グループサイト動画掲載)  
 (百万円未満切捨て)

## 1. 2026年8月期第3四半期の連結業績(2025年9月1日~2026年5月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年8月期第3四半期	5,141	—	1,053	—	1,060	—	726	—
2025年8月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2026年8月期第3四半期 726百万円( —%) 2025年8月期第3四半期 ー百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年8月期第3四半期	58.37	57.78
2025年8月期第3四半期	—	—

(注) 当社グループは、2026年8月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2025年8月期第3四半期の数値及び前年同四半期増減率並びに2026年8月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年8月期第3四半期	5,561	2,678	47.7
2025年8月期	—	—	—

(参考) 自己資本 2026年8月期第3四半期 2,652百万円 2025年8月期 ー百万円

(注) 当社グループは、2026年8月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2025年8月期の数値については記載しておりません。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年8月期	—	0.00	—	19.00	19.00
2026年8月期	—	11.00	—	—	—
2026年8月期(予想)	—	—	—	11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2026年8月期の連結業績予想(2025年9月1日~2026年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,600	—	1,450	—	1,440	—	980	—	78.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

- 当社は2026年8月期第3四半期より連結決算に移行しております。詳細は本日公表しました「連結決算開始に伴う連結業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。
- 2026年8月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 1社(社名) 株式会社イングリッシュカンパニー、除外 1社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年8月期3Q	12,754,237株	2025年8月期	12,662,911株
2026年8月期3Q	242,516株	2025年8月期	276,868株
2026年8月期3Q	12,442,177株	2025年8月期3Q	12,526,034株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載の業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが入手し得る情報と合理的であると判断する一定の条件によって作成しているため、数値記述内容の達成を確約するものではありません。また、実績は種々の要因にて変動することがあります。業績等の予想に関する注意事項等については添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明会内容の入手について)

当社グループは、2026年7月9日(木)に機関投資家及びアナリスト向けに決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料は、速やかにウェブサイトに掲載する予定です。

上記説明会のほかにも、当社グループでは個人投資家のみなさま向けに、定期的に事業・業績に関する説明会を開催していきます。この説明会で配付する資料および主な質疑応答は、開催後速やかに当社グループウェブサイトに掲載する予定です。

今後の開催の予定等については、当社グループウェブサイトをご確認ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(企業結合等関係)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。なお、当社グループは当第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前連結会計年度及び前年同四半期連結累計期間との比較分析を行っておりません。

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループが事業展開しております英語学習市場におきましては、少子高齢化による国内市場の先行き不安がある中で企業の海外進出意欲は依然として高く、グローバル人材の育成・確保に向けた英語教育への関心は根強いものがあります。さらに、福利厚生の一環として英語学習を導入する企業も増加傾向にあり、個人の学習意欲もグローバル化の進展に伴い高水準を維持しております。これらの背景から、英語学習市場全体は今後も堅調な成長が見込まれます。

生成AIの発展に伴い、英語教育業界にも変革が予想されますが、当社グループといたしましては英会話市場が縮小することはないと見込んでおります。特にビジネス領域では、人と人との対話が不可欠であり、英語力向上へのニーズは今後も継続すると考えております。そのため、AIを活用して学習効率や体験価値を高めることが、今後の競争力強化の鍵となります。

当社グループが参入いたしましたAI英会話サービス領域におきましては、AIの精度による差別化が難しい一方で、UI/UXの洗練が競争優位性を左右すると認識しております。また、テクノロジーの進化に関わらず、成果を出すためには学習時間の最大化が欠かせない要素であり、コンサルタントによる伴走型支援の重要性は今後も変わらないと考えております。

このような市場環境の中、英語コーチングサービス「プログリット」では、短期間で英語力を飛躍的に向上させるために、①英語学習を継続させる習慣を身につけるためのコンサルタントによるサポート、②顧客ごとにカスタマイズしたカリキュラムの設計、③利便性の高い学習アプリによる学習環境、という主に3つの特徴において、継続的な品質向上と改善に取り組んでおります。

また、リスニング力強化に効果的なシャドーイングに特化したサブスクリプション型サービス「シャドテン」では、コンテンツの拡充やアプリの顧客体験改善等を通じて平均継続期間が延びており、有料課金ユーザー数も堅調に推移しております。これにより、当社グループの収益基盤として順調に成長を遂げております。

加えて、スピーキング特化型サービス「スピフル」及びAI英会話サービス「ディアトーク」も順調に事業を展開しております。スピフルは、スピーキング力向上に不可欠な口頭英作文(注1)と独り言英会話(注2)を実践し、AIによる添削で振り返りを行うサブスク型サービスとして、ユーザー数を着実に拡大しております。ディアトークは、AI講師が学習者の興味関心や近況を分析・記憶し、最適な英会話実践の場を提供するサービスで、現在は機能改善や新規開発を進めており、今後の成長に向けた展開を図っております。

2026年4月には、英語コーチングサービス『ENGLISH COMPANY』を主軸に英語教育事業・教育系アプリ開発事業等を展開する株式会社スタディーハッカー(現株式会社イングリッシュカンパニー)の全株式を取得し、同社を当社の完全子会社といたしました。同社は第二言語習得論に基づいた科学的アプローチを重視し、多くの英語学習者の英語力向上に貢献してきた豊富な実績を有する企業です。今後は両社がこれまで培ってきた科学的知見やコーチング・スクール運営のノウハウ、プロダクト開発・マーケティング・学習データ等の経営資源を掛け合わせることで、ライフステージや学習目的・英語レベルに応じた多様なニーズへの包括的な対応を実現し、グループ全体のサービス品質向上と事業成長の加速を目指してまいります。

なお、当社グループは同社の全株式を2026年4月28日に取得しております。被取得企業の決算日は3月31日であり、みなし取得日を2026年3月31日としていることから、貸借対照表のみ連結し、第3四半期連結損益計算書及び第3四半期連結包括利益計算書には被取得企業の業績は含まれておりません。ただし、4月1日から連結決算日5月31日までの期間に発生した重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,141,098千円、営業利益は1,053,875千円、経常利益は1,060,173千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は726,284千円となりました。

なお、当社グループは英語コーチング事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載をしておりません。

- (注) 1. 口頭英作文：日本語の文章を瞬時に英語に変換し、発話するトレーニングです。  
2. 独り言英会話：自身で選んだお題について1分間英語でスピーチを行うトレーニングです。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は5,561,610千円となりました。主な内訳は、現金及び預金が3,717,999千円、のれんが294,301千円、敷金が400,094千円であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は2,883,341千円となりました。主な内訳は、未払金が271,448千円、未払費用が269,052千円、契約負債が1,444,966千円、長期借入金が284,819千円であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は2,678,268千円となりました。主な内訳は、資本金353,243千円、資本準備金350,243千円、利益剰余金2,211,619千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、2026年8月期の連結業績予想を公表いたしました。詳細につきましては、2026年7月9日に開示いたしました「連結決算開始に伴う連結業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (2026年5月31日)	
<b>資産の部</b>	
流動資産	
現金及び預金	3,717,999
売掛金	178,800
商品	35,708
貯蔵品	3,788
前払費用	156,730
その他	63,867
貸倒引当金	△739
流動資産合計	4,156,156
固定資産	
有形固定資産	
建物	371,219
減価償却累計額	△166,992
建物（純額）	204,227
工具、器具及び備品	75,753
減価償却累計額	△26,579
工具、器具及び備品（純額）	49,174
有形固定資産合計	253,401
無形固定資産	
のれん	294,301
無形固定資産合計	294,301
投資その他の資産	
投資有価証券	38,284
出資金	20
長期貸付金	199,241
長期前払費用	8,095
繰延税金資産	202,199
敷金	400,094
その他	10,574
貸倒引当金	△759
投資その他の資産合計	857,751
固定資産合計	1,405,454
資産合計	5,561,610
<b>負債の部</b>	
流動負債	
買掛金	42,796
1年内返済予定の長期借入金	112,079
未払金	271,448
未払費用	269,052
未払法人税等	177,982
契約負債	1,444,966
預り金	73,908
賞与引当金	61,315
その他	103,815
流動負債合計	2,557,363
固定負債	
長期借入金	284,819
資産除去債務	41,103
繰延税金負債	54
固定負債合計	325,977
負債合計	2,883,341

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間  
(2026年5月31日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	353,243
資本剰余金	350,243
利益剰余金	2,211,619
自己株式	△263,022
株主資本合計	2,652,083
新株予約権	26,185
純資産合計	2,678,268
負債純資産合計	5,561,610

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年5月31日)
売上高	5,141,098
売上原価	1,282,240
売上総利益	3,858,857
販売費及び一般管理費	2,804,982
営業利益	1,053,875
営業外収益	
受取利息	3,009
ポイント還元収入	4,056
その他	1,863
営業外収益合計	8,929
営業外費用	
支払利息	1,925
その他	705
営業外費用合計	2,631
経常利益	1,060,173
特別損失	
固定資産除却損	46
特別損失合計	46
税金等調整前四半期純利益	1,060,126
法人税、住民税及び事業税	333,842
法人税等合計	333,842
四半期純利益	726,284
親会社株主に帰属する四半期純利益	726,284

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年5月31日)
四半期純利益	726,284
四半期包括利益	726,284
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	726,284
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2025年9月1日 至 2026年5月31日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費及びその他の償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年5月31日)
減価償却費及びその他の償却費	28,281千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、英語コーチング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(企業結合等関係)

(取得による企業結合)

当社は、2026年4月7日開催の取締役会において、株式会社スタディーハッカー(現株式会社イングリッシュカンパニー)の全株式を取得し、子会社化することを決議いたしました。当該決議に基づき同日付で株式譲渡契約を締結し、2026年4月28日付で全株式を取得いたしました。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 株式会社スタディーハッカー  
事業の内容 英語教育事業・メディア事業・教育系アプリ開発事業

(2) 企業結合を行った主な理由

株式会社スタディーハッカーは、英語コーチングサービス『ENGLISH COMPANY』を主軸に、英語教育事業・メディア事業・教育系アプリ開発事業等を展開しています。同社は、第二言語習得論に基づいた科学的アプローチを重視し、多くの英語学習者の英語力向上に貢献してきた、豊富な実績を有する企業です。

この度、同社をプログリットグループの一員として迎え入れ、新たにグループ経営体制を構築いたします。ライフステージや学習目的、英語レベルに応じた多様なニーズに包括的に応えすべく、両社がこれまで培ってきた科学的知見やコーチング・スクール運営のノウハウ、プロダクト開発、マーケティング、学習データなど経営資源を最大限に掛け合わせ、グループとしてサービス品質のさらなる向上と事業成長の加速を目指してまいります。同社を当社グループに迎え入れることが、中長期的な成長基盤の強化および企業価値の向上に寄与すると判断しております。

(3) 企業結合日

株式取得日 2026年4月28日  
みなし取得日 2026年3月31日

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

(5) 結合後企業の名称

株式会社イングリッシュカンパニー

(6) 取得した議決権比率

100%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものであります。

2. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

被取得企業の決算日は3月31日であり、みなし取得日を2026年3月31日としていることから、貸借対照表のみ連結し、第3四半期連結損益計算書及び第3四半期連結包括利益計算書には被取得企業の業績は含まれておりません。ただし、4月1日から連結決算日5月31日までの期間に発生した重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。

3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	0千円
<hr/>		
取得原価		0千円

4. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等 7,549千円

5. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれんの金額

294,301千円

(2) 発生原因

将来期待される超過収益力から発生したものであります。

(3) 償却方法及び償却期間

11年間にわたる均等償却

6. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	179,431千円
固定資産	98,715千円
<hr/>	
資産合計	278,147千円
<hr/>	
流動負債	337,711千円
固定負債	234,736千円
<hr/>	
負債合計	572,448千円

7. 取得原価の配分

当第3四半期連結会計期間末において、企業結合日における識別可能な資産及び負債の特定並びに時価の算定が未了であり、取得原価の配分が完了していないため、その時点で入手可能な合理的情報に基づき暫定的な会計処理を行っております。